

(20) アムリット4がラット肝グリコシルトランスフェラーゼのmRNA情報に及ぼす影響

文献名

Proceedings of the American Association for Cancer Research, Vol.33, p.13, March 1992 (Abstract).

著者

S. Rajalakshmi and R.K. Sharma

実施場所

Department of Pathology, University of Toronto, Canada M5S 1A8 (トロント大学、病理学科、カナダ、トロント)

要約

本研究では、ラットの肝臓のベータ1,4ガラクトシルトランスフェラーゼおよびベータガラクトシドアルファ2,6シアリルトランスフェラーゼの遺伝子情報に対するM4の影響を調査した。基礎的食事で飼育されたラットに3日間および7日間にわたり毎日、M4を胃管栄養法で投与した(4.1mg/g b.w.)。肝臓のポリA RNAを単離し、cDNAプローブを用いたノザンプロット分析によりmRNAの写しを分析した。M4を3日間および7日間与えたラットでは、両方の遺伝子のmRNAの写しのレベルに劇的な増加が認められた。M4の肝臓癌誘発物質に対する影響は、ラットの癌が発生する肝臓小結節におけるグリコシルトランスフェラーゼの顕著な変化について述べた以前の研究の観点から調査する価値がある。